

ライフサイエンスイノベーション推進機構 トランスレーショナルリサーチ推進センター

日時：平成22年2月15日（月）17:00～18:00

会場：松岡キャンパス臨床研究棟3階会議室

演者：宮田 篤郎 先生

鹿児島大学大学院 医歯総合研究科
生体情報薬理学・教授

演題：PACAPの神経特異的発現調節と機能の多
様性の解明：臨床への応用展開を目指して

【要 旨】

多機能神経ペプチドである Pituitary Adenylate Cyclase Activating Polypeptide (PACAP)は、中枢神経系において、neurotransmitter 或いは neuromodulator としての機能の他、種々の神経細胞死を抑制することなどから神経栄養因子としての機能が注目されている。そこで、我々は、中枢神経における本ペプチドの遺伝子発現調節機序の解明を目指し、本遺伝子発現が、誘導的発現に関与する領域と、構成的発現に関与する領域によるデュアルモードで制御されていることが明らかとなった。しかも神経選択的サイレンサーが、その神経特異的発現調節の中核をなすことが示唆された。本セミナーでは、PACAPの神経特異的発現についての知見と合わせて、PACAPの機能の多様性に寄与する PACAP 特異的受容体 PAC1 の分子的多様性に関する知見を紹介するとともに、現在進めつつある難治性疼痛治療薬の開発を目指した応用研究を紹介する。

教職員、大学院生の皆様のご来聴をお願いいたします。

本学内セミナーは、教育研究高度化推進のための支援体制整備事業「世界的研究拠点形成支援プロジェクト」からの援助を受けています。

〔福井大学トランスレーショナルリサーチ推進センター〕